

第 4 次 地 域 管 理 経 営 計 画 書

第 1 次 変 更 計 画

(変 更 部 分 の み)

(天 竜 森 林 計 画 区)

計 画 期 間	自	平 成 26 年 4 月 1 日
	至	平 成 31 年 3 月 31 日

関 東 森 林 管 理 局

天竜森林計画区の第4次地域管理経営計画の変更について

【変更理由】

次の理由から国有林野管理経営規程（平成11年農林水産省訓令第2号）第6条第9項の規定に基づき変更するものである。

地球温暖化防止のため、将来にわたり森林の二酸化炭素吸収量を確保する観点から、主伐・再造林を追加したこと等に伴い、機能類型、伐採総量、更新総量、保育総量及び林道等の開設に関する計画量を変更する。

なお、本変更計画は、平成28年4月1日から適用する。

【変更項目】

- I 国有林野の管理経営に関する基本的事項
2 機能類型に応じた管理経営に関する事項
（本文省略）

表－1
機能類型区分と公益的機能別施業森林の関係について

（単位：面積ha）

地域管理経営計画における機能類型区分		国有林の地域別の森林計画における公益的機能別施業森林	当計画区の該当する森林の面積
山地災害防止タイプ	土砂流出・崩壊防備エリア	・ 山地災害防止機能／土壌保全機能維持増進森林 ・ 水源涵養機能維持増進森林	5,839
	気象害防備エリア	・ 山地災害防止機能／土壌保全機能維持増進森林 ・ 快適環境形成機能維持増進森林 ・ 水源涵養機能維持増進森林（立地条件（海岸）により除外する場合もある。）	—
自然維持タイプ		・ 保健文化機能維持増進森林 ・ 水源涵養機能維持増進森林 ・ 山地災害防止機能／土壌保全機能維持増進森林（立地条件により区分する場合もある。）	1,088
森林空間利用タイプ		・ 保健文化機能維持増進森林 ・ 水源涵養機能維持増進森林 ・ 山地災害防止機能／土壌保全機能維持増進森林（立地条件により区分する場合もある。）	2,291
水源涵養タイプ		・ 水源涵養機能維持増進森林（分収林については、契約に基づく取扱いを行う）	13,454
機能類型区分設定外			—
合 計			22,671

（注）四捨五入の関係で、総数は一致しない。

- ア 山地災害防止タイプにおける管理経営の指針その他山地災害防止タイプに関する事項
(本文省略)

山地災害防止タイプの面積 (単位：ha)

山地災害防止 タイプ	うち、土砂流出・ 崩壊防備エリア	うち、気象 害防備エリア
5,839	5,839	—

- ウ 森林空間利用タイプにおける管理経営の指針その他森林空間利用タイプに関する事項
(本文省略)

森林空間利用タイプの面積 (単位：ha)

森林空間利用タイプ	うち、レクリエーションの森
2,291	1,506

- エ 水源涵養タイプにおける管理経営の指針その他水源涵養タイプに関する事項
(本文省略)

水源涵養タイプの面積 (単位：ha)

水 源 涵 養 タ イ プ
13,454

- 4 主要事業の実施に関する事項
(本文省略)

(1) 伐採総量 (単位：m³)

主 伐	間 伐	臨時伐採量	計
117,779	142,907 (1,632)	14,600	275,286

(注) ()は、間伐面積(ha)。

(2) 更新総量

(単位：ha)

人工造林	天然更新	計
248	9	257

(3) 保育総量

(単位：ha)

下刈	つる切	除伐
854	23	51

(4) 林道等の開設及び改良の総量

区 分	開 設		改 良	
	路線数	延長量(m)	路線数	延長量(m)
林 道	7	7,600	46	950
うち林業専用道	7	7,600	—	—